

2026年1月30日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ミスミグループ本社  
代 表 者 名 代表取締役社長 大野 龍隆  
(コード番号: 9962 東証プライム)  
責任者役職名 常務執行役員 CFO ファイナンス  
プラットフォーム・ハブ代表役員  
高波 徹  
(TEL: 03-6777-7501)

## 通期連結業績予想および期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026年1月30日開催の取締役会において、直近の業績動向などを踏まえ、2025年10月31日に公表した2026年3月期通期連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)および期末配当予想を下記のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 連結業績予想の修正

##### (1) 2026年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A) (2025年10月31日公表)	百万円 432,000	百万円 45,500	百万円 46,300	百万円 33,900	円 銭 124.67
今回修正予想(B)	440,000	46,200	47,300	33,900	125.11
増減額(B-A)	8,000	700	1,000	-	
増減率(%)	1.9%	1.5%	2.2%	-	
(ご参考)前期実績 (2025年3月期)	401,987	46,480	49,901	36,549	131.95

注)2026年1月1日から2026年3月31日までの期間における平均為替レートについては、米ドル:155.0円、ユーロ:182.0円、人民元:22.0円を前提としております。

##### (2) 修正の理由

当第3四半期連結累計期間につきましては、主要顧客産業である自動車関連産業低迷の影響を受け、不透明な状況が継続しました。一方、7月より業績を連結範囲に加えたFictiv Inc.を筆頭に当社が推進している各独自施策は堅調に推移しました。これら業績状況に加えて、円安が長期化している足元の為替動向などを総合的に勘案した結果、業績予想を上記のとおり修正いたします。

なお、今後事業環境の変化等により、本業績予想は変動する可能性があります。開示すべき事象が生じた際には速やかにお知らせいたします。

## 2. 配当予想の修正

### (1) 2026年3月期期末配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2025年10月31日公表)	25円62銭	25円62銭	43円64銭
配当性向		35.0%	35.0%
今回修正予想	26円04銭	26円04銭	44円06銭
配当性向		35.0%	35.0%
当期実績	18円02銭		
配当性向	35.0%		
前期実績 (2025年3月期)	19円83銭	23円38銭	43円21銭
配当性向	30.0%	35.0%	32.5%

### (2) 修正の理由

当社グループは、社員の挑戦を起点として、顧客であるものづくり産業※1 の持続的成長へ貢献し、社会の持続的発展を支える、成長連鎖経営を志向しております。この実現に向けて、地域・事業・新商品・新サービス開発等へ積極的な成長投資を行い、顧客時間価値向上に貢献する事業モデルの進化に取組んでいます。また、中長期的な企業価値向上の実現に向けて、更なる資本効率向上に注力し、エクイティスピリット拡大を目指しております。そのため、中長期的な視点での成長投資と株主還元は、バランスをとりながら実施してまいります。

配当に関しては、経営基盤拡充、財務体質の強化、資本効率の向上なども勘案し、配当性向 35%を基準としていることから、上記のとおり 2026 年 3 月期連結業績予想の修正により、1 株当たり期末配当金を 26 円 04 銭(前年比 2 円 66 銭増)に修正し、年間配当金は 1 株当たり 44 円 06 銭の見込みとなります。

※1: 当社が定義するものづくり産業とは、製品開発から設備製造、量産に及ぶ領域であり、従来の製造業や自動化産業にとどまらず、より広い範囲を対象としています。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上